

## 2020年度 星槎大学・大学院 学位授与式 祝辞

卒業生の皆さん、修了生の皆さん、本日は誠におめでとうございます。

ご父母の皆さま、関係者の皆さまのお喜びもひとしおでしょう。重ねてお祝い申し上げます。

2020年は、皆さんにとって学生生活の集大成の年でしたが、予期せぬ状況下で戸惑いや不安・困惑など計り知れない試練を乗り越えてこられました。卒業の日を迎えることができたのは自分自身の努力はもちろんのことですが、ご家族をはじめ周囲の方々の応援があったからこそ。そのことをこれまで以上に痛感した一年ではなかったでしょうか。世界中を震撼させ、なおも予断を許さない新型コロナウイルス感染が引き起こす状況の中、切磋琢磨し学修の成果を挙げたことにより本日、学位記が授与されます。皆さんより少し先に卒業した同志として、校友会を代表し、皆さんのご尽力に敬意を表します。星槎大学・大学院は、老若男女、極めて多彩な方々が入学し、そして卒業後は様々な分野で活躍しております。校友会は、全国で活躍する卒業生とのご縁をより深め広げるとともに、星槎大学の発展と在学生の支援を目的として2013年に設立されました。全国を6ブロックに分け、大学院ブロックを合わせた7ブロックで構成されています。卒業後は、是非、校友会の一員として、様々な企画に積極的に参加していただきたくお願い申し上げます。

さて、卒業を迎え、皆さんの一人ひとりの胸の中には、学生生活の様々な思い出が去来しているのではないのでしょうか。思うようにレポートが書けず悩んだこと、提出期日に焦ったこと、スクーリングの日程と仕事との両立に苦しんだことなどなど、本学での出会いや経験したすべてのことが、今の皆さんの力になっているはずです。どんな些細なことも無駄になっていることはひとつもありません。これから皆さんは、社会で遭遇するであろう様々な困難や壁を前に、失敗を恐れず、自分の可能性を信じて、諦めずに取り組んでください。

このコロナ禍は、私たちに政治・経済・教育・文化など、社会を構成するすべての要素において、従来の考え方では打破できない課題を突き付けているのではないのでしょうか。地球に住むすべての人々がこの災禍の当事者となり、向き合うことを余儀なくされています。特に、若い世代である皆さんには、グローバル社会の中で、国や地域を超えて、この災禍を克服すべく共生・共存の地球を構築していただきたいと思います。星槎大学・大学院での学びや研究の成果、あるいは、皆さんの志が多いに発揮されることを願わずにはられません。

このような困難な中、新しい門出を迎える皆さんは逆境に強い特別な存在だと思います。皆さんの今後のさらなる発展、活躍を祈念して、私のお祝いの挨拶といたします。

2020年4月11日

星槎大学・大学院校友会  
会長 渡慶次涼子